

矢本貞幹 （漢字） 英文學者。明治四十一年一月十一日岐阜縣生れ（一九一〇）。筆名島城青人。昭和八年東北帝國大學卒。仙臺高等工業學校、大阪商科大学豫科、大阪大學、關西學院大學各教授歴任。

譯書に、T・S・エリオット著『文藝批評論』（昭和十二年五月一日岩波書店「岩波文庫」）、コンラッド作『青春他一篇』（昭和十五年二月二日岩波書店「岩波文庫」）、C・モーガン著『鏡に映る影』（笹山隆共訳、昭和二十二年十月一日南雲堂「南雲堂不死爲選書」）等。

著書『エリザベス朝の文學』（昭和二十二年二月一日大阪・秋田屋）、『漱石の精神』（昭和二十二年八月十五日大阪・秋田屋）、『近代イギリス批評精神』（昭和二十二年十月十五日創元社「學術叢刊」）、『現代イギリス批評の先驅』（昭和二十二年四月一日研究社出版株式會

社「研究社英米文學語學選書」）、『矢野永積博士近代文藝の研究』

選曆記念論文集

『合著・矢野博士選曆記念刊行會編、昭和二十一年二月十一日北星堂書店）、『現代イギリスの文學思想（批評の理論と技術）』（昭和二十一年九月二十五日研究社出版株式會社）、『現代イギリス文明

批評』（編、昭和二十四年六月十

五日南雲堂「南雲堂不死爲選書・

別卷一英米文學シンポジウム」）、

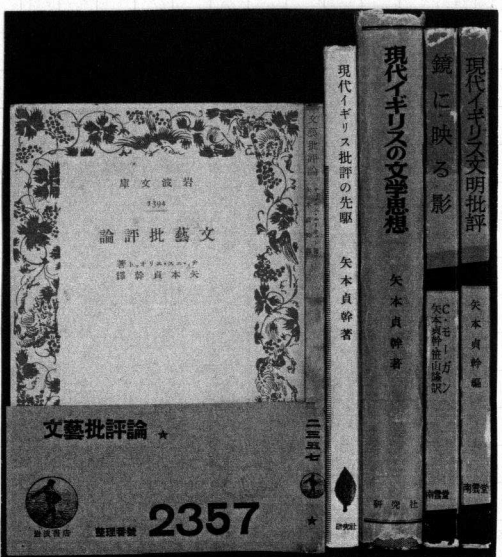
『文學史の諸問題』（合著、昭和

二十六年六月十五日南雲堂「南雲

堂不死爲選書一英米文學シンポジ

ウム」）、『夏目漱石一その英文

學側面』（昭和四十六年九月二十日研究社出版株式會社「研究社叢



2357

